

ダクト遠隔監視サービス

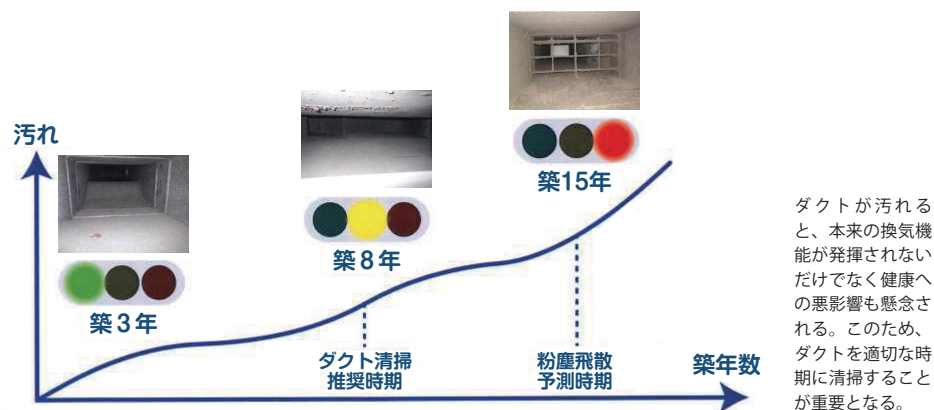
ダクトの汚染状況をリアルタイムで確認できる

「ダクト遠隔監視サービス」は、ダクトの内部にカメラとセンサーを設置することにより、インターネットを経由していつでもどこでもダクト内の状況をリアルタイムに把握できるサービス（特許出願中）。

現在のダクトの汚染状況を知らせるだけでなく、得られたデータをAIで解析することで、粉塵飛散などのトラブル予測や最適なダクト清掃時期の提案も行うことができる。



■ダクト遠隔監視サービスのイメージ



空調ダクト清掃の質を向上させ、作業を効率化する

「ACVAシステム」は、ビルやマンション、店舗、公共施設、工場などにおけるダクト清掃について、全ての作業をスピーディーかつ正確に行うためのシステム。

「調査」「清掃」「消毒」「監視」の4つの工程により、空調システムの衛生的な保守管理を計画的・断続的に行うことができる。

■ 4つの工程

①調査（サーベイ）

粉塵や微生物などによる汚染状況を、ファイバースコープや微粒子測定器等を用いて詳細にチェック。汚染状況は調査報告書にまとめられ、これをもとに清掃計画が立てられる。

②清掃（クリーニング）

一定間隔でダクトに取り付けた本システム独自の「ACVAポイント」から清掃器具を挿入。ダクト内に圧縮空気を送り込み、粉塵やホコリを強制的に剥離させ、集塵機によって吸い出す。

③消毒（トリートメント）

ACVAポイントから噴霧ノズルを挿入し、空調システム専用に開発された防菌・防カビ用の薬剤をダクト全体に散布。薬剤は人体には無害のため安心して施工できる。

④監視（モニタリング）

ダクト内部にサンプラーを取り付け、内部の汚染状況を定期的にモニタリング。サンプラーはダクトの上流域と下流域に設置され、それぞれを比較することで汚染状況を判断する。

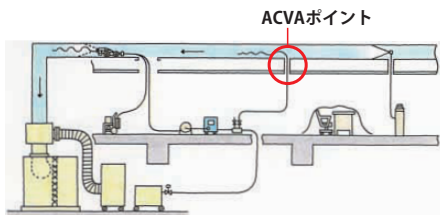


システムイメージ図



本システムの要となる清掃・点検口「ACVAポイント」。ダクトに直径29mmの穴を開けるだけで容易に設置でき、設置により全ての作業を効率的に行うことが可能となる。

■ACVAシステムの基本原理



ダクトの下流域から清掃ツールを入れて粉塵を剥離させ、その後剥離した粉塵を集塵機で吸い取る。